

な は みなと

第2号

目次

- 1 人流・物流を支える港湾の整備
～ 金城勉参事監兼企画建設部長 ～
- 2 那覇港サイン計画を策定しました（企画建設部計画課）
- 3 海面清掃船「清港丸」は安全な那覇港のために頑張っています
（総務部業務課）
- 4 那覇港振興協議会総会が開催されました！（総務部総務課）
- 5 那覇港管理組合一般会計補正予算（第1号）が可決されました！
（総務部総務課）
- 6 那覇港とびっくす（那覇港の動き、那覇港管理組合議会の動き）
- 7 那覇港写真館



今年7月に寄港予定のボージャー・オブ・ザ・シーズ

人流・物流を支える港湾の整備

那 覇 港 管 理 組 合
参事監兼企画建設部長 金 城 勉

いきなり堅いタイトルから始まりましたが、皆様ご承知のとおり、沖縄県は、今年、復帰40周年を迎えました。また、那覇港管理組合も、4月で設立10周年を迎えています。

この節目の年にあたり、県では、さらなる沖縄の振興発展を図るため、平成24年度から始まる「沖縄21世紀ビジョン基本計画」を復帰の日である5月15日に決定し、同日、野田佳彦首相へ直接提出しています。

さて、冒頭のタイトルは、この「沖縄21世紀ビジョン基本計画」の中で那覇港について記述している重要な箇所の見出しとなっています。

では、同基本計画において那覇港がどのように位置づけられているか基盤整備を中心にご紹介したいと思います。

『 第3章3（1）イ 人流・物流を支える港湾の整備

～略～

那覇港については、那覇空港やふ頭間等とを結ぶ臨港道路の整備、防波堤や耐震岸壁などの港湾施設の整備を促進します。また、ガントリークレーン増設を含む国際コンテナターミナルの整備や国内外貨物の物流拠点施設となるロジスティクスセンター建設及び背後地の整備を推進することにより、国際流通港湾としての機能充実に図ります。

また、生活物資や産業関連物資等が集中する国内航路については、船舶の大型化等に対応するため、岸壁、ふ頭用地、上屋などの港湾施設の強化・拡充等を図るほか、各ふ頭の機能再編を実施し、効率的で安全な港を整備します。

さらに、大型クルーズ船に対応する国際旅客ターミナルを整備し、クルーズ船の誘致活動を推進するとともに、海洋レクリエーション活動に対応したコースタルリゾート及びウォーターフロントの整備を推進します。

～略～ 』

那覇港管理組合としては、「沖縄21世紀ビジョン基本計画」に則り、基盤整備は勿論のこと、国際及び国内物流機能の効率化を図るためのソフトの仕組みづくりやみなとの賑わいづくりについても積極的に取り組んでまいります。

今後とも、皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い致します。

那覇港サイン計画を策定しました。（那覇港の案内板等を整備する計画です）

（企画建設部計画課）

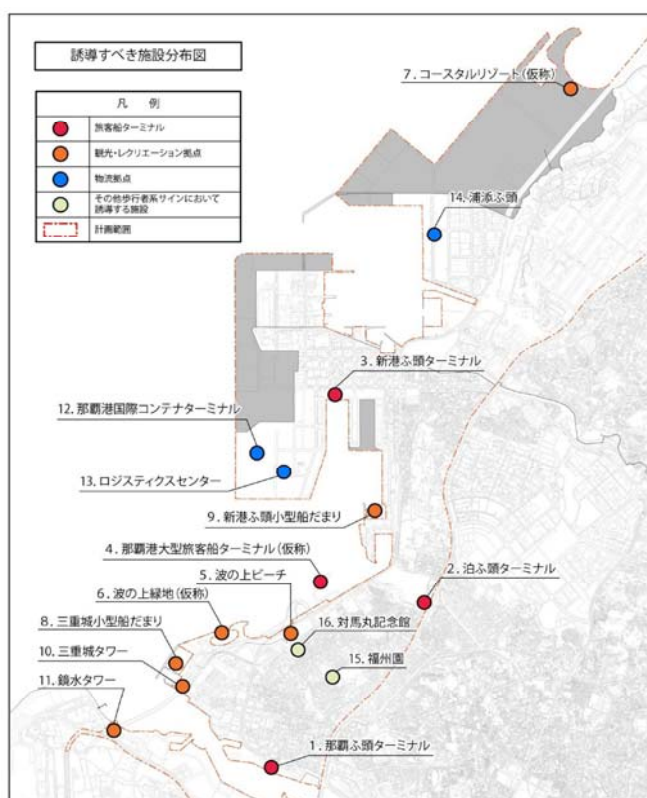
那覇港では、ウォーターフロントなどの主要施設を利用する県民や外国人観光客を含む来訪者、事業者にとって分かりやすい方向案内・施設案内表示を整備し、円滑な案内・誘導を進めると共に、景観の向上等を図るためのサイン整備（案内板等の整備）のあり方を検討し、その配置や表示内容・デザイン等に関する「那覇港サイン計画」を策定しました。サイン計画の策定に際しては、「那覇港サイン計画検討委員会」にて、サインの整備の基本方針などを検討しました。デザインコンセプトは、誰もが見やすく・分かり易いサインとし、5カ国語表記・絵文字の使用や、弱視の人や車椅子利用者の視点にたった文字の大きさ・色・表示位置等を採用しています。また、那覇港は歴史のある港であり、その歴史性を生かしながら、周辺地域と一体となった「みなとまちづくり」に資するサインデザインとするため、素材や色彩、意匠に「琉球」を感じさせるデザインを持ち込むことや、周辺施設やプロムナード等のデザインとの調和を図ります。

今後、那覇港においては、「那覇港サイン計画」に基づき、波の上ビーチや大型旅客船バース等の主要施設や、公共性の高い場所から、順次サイン整備を行い、利用者の利便性を高め、景観の向上を図っていきます。

【誘導システムの考え方】



【誘導すべき施設】



【サイン設置イメージ】



～海面清掃船「清港丸」 は安全な那覇港のために頑張っています～

(総務部 業務課)

那覇港管理組合では、那覇港内の船舶の航行安全、水域の美化及び環境保全の確保を図る目的で、海面清掃船による清掃作業を行っています。

那覇港での海面清掃作業では、管理組合所有の清掃船「清港丸」(昭和56年建造、双胴船型)が大活躍しています。定期作業として週2回、火曜日と金曜日に海面の清掃を実施しています。また、臨時作業として大雨や台風の後の港内の滞留ごみの撤去、さらに緊急作業として油の流出事故が発生した際の油の回収作業を行い、環境汚染の防除等に努めています。

海面清掃の方法は、浮いているごみを清掃船が自走しながら回収します。清掃船が入り込めない部分では人力による作業で船上にごみを引き揚げています。船上に揚げることができない大きな流木等については、岸までロープで引っ張ってクレーンで陸揚げしています。



海面清掃船「清港丸」

近年、那覇港内で回収される海面ごみとして、現代社会を象徴するペットボトル、発砲スチロール、ビニール袋、空き缶、空き瓶等が目立ってきています。地球環境を保全する意味で、一人一人が環境問題への意識を高めるとともに、ごみの適切な処理に努めることが必要だと痛感しています。

こうして30年余にわたり、那覇港の航行安全や美化に貢献してきた「清港丸」も来年には新「清港丸」へバトンタッチすることになっています。今後も、地道ながら那覇港の安全航行や環境保全のために引き続き頑張ってくれることでしょう。



「清港丸」による海面ごみ回収作業

平成24年度 那覇港振興協議会総会が開催されました！

(総務部総務課)

去る5月10(木)に那覇港振興協議会の平成24年度総会が那覇港管理組合議場において開催されました。

今年度は、会員が新たに12団体加入したこともあり、会員35団体のうち新会員を含む29団体が出席し、賑やかな総会となりました。

総会においては、平成24年度事業計画及び予算等7件の議案が提案され、全て原案どおり承認されました。

また、総会終了後には、那覇港湾・空港整備事務所 酒井所長及び那覇港管理組合 田原企画室長、中本計画課長から、那覇港の平成24年度整備事業や物流・クルーズ船関連の実績等を説明していただき、会員からは沖縄振興特別推進交付金関連の質疑等がなされ、有意義な意見交換の場となりました。

今回の総会では、平成11年9月から会長として那覇港の発展のためにご尽力なされた“比嘉 栄仁 氏(琉球海運㈱ 代表取締役会長)”が勇退されました。当協議会では同氏の功労を称え感謝の意を込めまして花束を贈呈しました。

また、新会長には、“山城 博美 氏(琉球海運㈱ 代表取締役社長)”が選出されました。事務局を担う総務課としましては、那覇港の発展のため新会長を中心に一致団結し、今年度事業に取り組んでいきたいと考えております。



【総会の様子】



【花束を手にご満悦の比嘉前会長】

那覇港管理組合一般会計補正予算(第1号)が可決されました。!

那覇港管理組合議会5月臨時会において、一般会計補正予算(第1号)が全会一致で可決されました。

今回の補正予算は、当初予算額34億4,287万1,000円に、歳入歳出それぞれ9億301万2,000円を追加し、補正後の予算額を43億4,588万3,000円とするものです。

その内容は、今年度から沖縄県に配分される沖縄振興特別推進交付金、いわゆる沖縄振興一括交付金を組合の各構成団体(沖縄県、那覇市及び浦添市)から受け入れて、6つの事業を行うものとなっており、事業内容は以下のとおりとなっています。

1. ガントリークレーン整備事業

【予算額 4億円(2年事業:総事業費10億円予定)】

新港ふ頭の国際コンテナターミナルにガントリークレーンを1基増設

2. 那覇港物流ビジネスモデル導入事業 【予算額 3,955万5,000円】

那覇港を活用した物流ビジネスモデルの提案及び社会実験を実施

3. リーファー電源整備事業 【予算額 1億2,000万円】

新港ふ頭の国際コンテナターミナルに、冷凍食品用等低温輸送用コンテナの電源増設

4. 生活物資安定供給対策事業(浦添ふ頭防風対策) 【予算額 2億6,000万円】

浦添ふ頭に北風対策の防風柵を設置

5. 観光客利便性向上施設整備事業(ボーディングブリッジ)

【予算額 6,000万円(2年事業:総事業費2億円予定)】

旅客ターミナルビル(建設予定)と客船を結ぶ渡り廊下を整備

6. 総合物流センター可能性調査事業 【予算額 5,545万7,000円】

国内及び国際物流の効率化に資する施設の需要と可能性を調査



【ガントリークレーン及びリーファー電源整備予定地(新港ふ頭地区)】



【ボーディングブリッジ整備予定地(泊ふ頭地区)】



知事要請

4/9(月)

- 那覇港振興協議会では、去る4月9日(月)に一括交付金による那覇港の整備促進として、10件の事業実施を仲井眞弘多沖縄県知事に要請しました。



クルーズ船歓迎式典

4/9(月)~5/2(水)

- 4月9日のSUPERSTARAQUERIUS号をはじめ、4月12日にZAANDAM号、4月13日にぱしふいっくびいなす号、4月25日にORIENTALDRAGON号、5月2日にHANSEATIC号の寄港を記念して歓迎式典を開催しました。



HASCO台湾航路復活について

4/28(土)

- 平成23年9月、HASCO社の航路再編により台湾への直接航路が中断していましたが、船社代理店との協同による航路再開要請や直接のポートセールスにより、平成24年4月28日(土)から台湾への直接航路が再開されました。



TAI KING初寄港について

5/16(水)

- 平成24年5月16日(水)に台湾の新發航運が運航する「大亨(TAI KING)」号(総トン数1,481トン、全長74.95m)が那覇港に初入港いたしました。
- 同社の運航する「大亨(TAI KING)」号は基隆(台湾)ー那覇ー石垣ー基隆(台湾)を週1回運航し、毎週水曜日に那覇港へ入港いたします。



“港湾特別功労者”の紹介！

5/23(水)

- 日本港湾協会の平成24年度通常総会(山口県周南市:5月23日開催)において、堤敏郎 前常勤副管理者、翁長雄志 那覇市長、儀間光男 浦添市長、津嘉山正光 琉球大学名誉教授(那覇港地方港湾審議会会長)の4名が“港湾特別功労者”として表彰されました。



那覇港地方港湾審議会の開催

5/31(月)

- 那覇港港湾計画の一部変更を審議するため、平成24年度第1回那覇港地方港湾審議会を開催しました。
- 9月号で特集記事を掲載する予定です。ご期待下さい。

**那覇港管理組合
今後の主な予定**

- ボイジャー・オブ・ザ・シーズ歓迎式典(7/5)
- 海の日企画(第1弾)「ボイジャー・オブ・ザ・シーズ船内見学会」(7/16)
- 海の日企画(第2弾)「スーパースター・アクエリアス船内見学会と那覇港港湾施設パネル展」(8/7, 8/14)
- 那覇港管理組合議会8月定例会(8月下旬)

**～那覇港管理組合議会のうごき～
5月臨時会の開催(5/24)**

下記の議案が可決されました。

- 議員提出議案第1号：
「MV-22オスプレイの米軍普天間飛行場への配備及び那覇軍港使用の反対に関する意見書」
- 議員提出議案第2号：
「MV-22オスプレイの米軍普天間飛行場への配備及び那覇軍港使用に反対する抗議決議」
- 管理者議案第1号：
那覇港管理組合一般会計補正予算

 那覇港写真館

夕日に浮かぶ HANSEATIC 号



波の上緑地内のダイビングスポット

クルーズ船をエイサーで見送り



*****那覇港だよりに関するお問い合わせやご意見、情報の送り先*****

那覇港管理組合総務部総務課(担当：福原)

〒900-0035 那覇市通堂町2番1号

TEL:098-868-2578 FAX:098-868-2629

e-mail: kumiai@nahaport.jp

* * * * *